

お ぐり こう すけ のすけ ただ まさ  
**小栗上野介忠順** 1827(文政10)年～1868(慶応4)年

小栗忠順は新潟奉行・忠高と小栗家息女くに子に父母とし、江戸駿河台で生まれた。小栗家は徳川譜代の旗本で、上野国群馬郡権田村(375石)は禄高2,700石(9ヵ村)の領地の一つであった。小栗忠順は33歳のとき井伊大老に抜擢され、万延元年(1860)日米通商条約批准交換のため遣米使節目付役として渡米した。大西洋、インド洋を経て帰国後、この旅の見聞により横須賀製鉄所(後の海軍工廠)を建設するなど財政・経済に手腕を振った。慶応4年(1868)正月、江戸城大会議で主戦論を唱えて罷免され、同年3月権田東善寺に隠棲した。西軍(明治政府軍)がこれを無実の罪で追捕し、閏4月6日水沼川原にて斬首した。享年42歳。



【小栗の先見性を示す「ネジ釘」(東善寺蔵)】  
 高品質の鉄製ネジ釘の量産が日本近代化の第一歩であると看破し米国土産とした

遣米使節を報道したフランクレスリー・イラスト新聞(東善寺蔵)



【ワシントン海軍造船所 1860年6月6日】  
 工場見学が日本の「モノづくり」の原点となった



【ブキャナン大統領に面謁 1860年6月2日】  
 ホワイトハウスで国書を渡す使節団

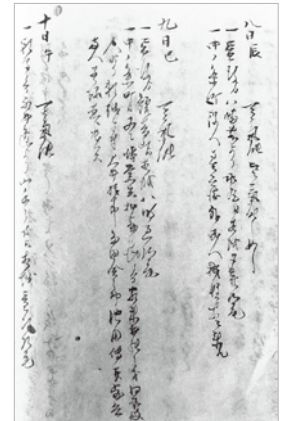


【横須賀明細式覧圖(明治18年版、東善寺蔵)】

蒸気機関を原動力とした近代造船所、日本産業革命地・横須賀の生産修繕技術と経営手法は富岡製糸場、中島飛行機にも受け継がれた



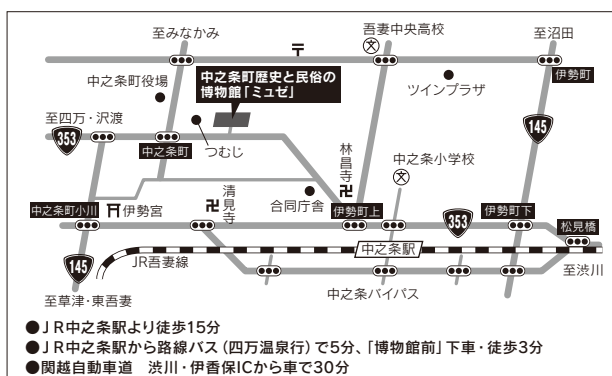
【顕彰慰霊碑(高崎市倉渕町)】  
 「偉人小栗上野介 罪なくして此所に斬らる 岳南蝮川新書」



【小栗日記(県重文)】  
 慶応四年(1868)三月  
 中之条町の打ちこわし騒動を記述

小栗上野介による偉業

- 【主な業績】・横須賀製鉄所(造船所)建設・仏語伝習所(横浜)設立・日本初の株式会社設立(兵庫商社、築地ホテル館)・歩騎砲兵の洋式軍隊編成訓練・滝野川火薬製造所および反射炉建設・小石川大砲製造所の建設・湯島鑄造所の改造・中小坂鉄山採掘、など
- 【近代化の提唱】・郡県制度・新聞発行・ガス灯設置・郵便電信制度設立・鉄道(江戸ー横浜)建設・中央銀行設立・諸色会所(商工会議所)設立・造船用森林保護育成 など



展示構成

- ①小栗上野介の略歴
- ②幕府最初の遣米使節が見たもの
- ③帰国後8年間に成し遂げた偉業
- ④近代国家の礎・横須賀製鉄所の建設
- ⑤上州倉渕で「罪なくして斬らる」
- ⑥小栗夫人一行の会津逃避行

館長/学芸員によるギャラリートーク

日時 ● 9月16日(土)、17日(日) 各13:15～14:00  
 場所 ● ミュゼ企画展示室 定員:先着15名(予約不要)

中之条ビエンナーレ2023 紅月劇団公演「Ogri—小栗上野介」

日時 ● 9月9日(土)～10月9日(月・祝)  
 9月23日(土) ①14:00～②17:00～ 9月24日(日) ③13:00～④16:00～  
 場所 ● 中之条町富沢家住宅(国重文)  
 入場無料・投げ銭歓迎(30分前開場)

企画展講演会 幕府の運命・日本の運命 —小栗上野介の日本近代化—

講師 ● 東善寺住職 村上泰賢先生 定員 ● 60名(要予約)  
 日時 ● 9月19日(火)10:00～11:30 受付開始 ● 8月25日(金)9:00  
 場所 ● 中之条町役場第2会議室 入場 ● 無料

お申込み/問い合わせ先「ミュゼ」 ☎ 0279-75-1922